

事務事業名		耕作放棄地解消事業			会計	一般会計				
事業種別		政策			開始	22	終了			
課等名	農業課	係等名	農村振興係							
基本計画上の位置づけ	政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり							
	施策	11	支え、育む産業基盤づくり							
目的	対象(誰・何を)	耕作放棄地			対象指標	指標名及び単位			24年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	再生利用する				面積(ha)			30	
	向上させたい上位施策の成果指標	既存農業者の産出額(農業):億円								
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	耕作放棄地解消面積(ha)			3	1.25	3	3		
	成果指標	再生交付金事業実施面積(a)			30	99	30	30		
	定性目標									
事業概要	<p>農業振興地域内の荒廃した農地の再生作業(障害物除去、深耕、整地等)を耕作放棄地再生利用交付金を活用し、実証ほ場として市が実施する。再生作業後は耕作者を確保し農地として活用してもらい、展示・PRをし、耕作放棄地対策の気運を高める。実際には、耕作放棄地対策協議会である飯田市農業振興センターが事業主体となり、補助残部分を市が負担する。</p>									
24年度事業内容	事業内容				名称			活動指標		
	農業振興センター(耕作放棄地対策協議会)による「耕作放棄地再生利用緊急対策事業」への負担金 事業主体 農業振興センター 1. 再生交付金を活用した耕作放棄再生面積 2. 再生作業 再生作業 99a(障害物除去、深耕、整地等) 事業費906,150円－交付金456,150＝450,000円				耕作放棄再生実施面積			99a		
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足				
事業費計(千円)①		383	450	450	400					
国庫支出金										
県支出金										
起債										
その他										
一般財源		383	450	450	400					
人件費計(千円)②		0		715						
正規職員所要時間				200						
臨時職員所要時間										
総事業費①+②		383	450	1,165	400					
事業内容・目標達成状況の振り返り	優良農地として昭和50年代には場整備を行った果樹団地の中に、耕作者が高齢化し放置された放棄地に対して、交付金を効果的に使用してモデル的に整備事業を実施した。今後は、整備が完成した後、新たな担い手へ繋いでいく必要がある。									
改革改善の考え方	①問題点	平成22年度から開始した事業で、国の補助事業を実施する農業振興センターに対して、補助残部分への補填を行っている。耕作放棄を解消するまとまった面積が少ないことが課題となっている。								
	②改革提案	市、農業振興センター、農業委員会事務局、農地利用円滑化団体(JAみなみ信州)が連携し、農地利用調整会議等を交えた推進体制を確立する必要がある。								